

環境保全行動 報告提出書
自動車使用管理実施

2023 年 7 月 20 日

(宛先) 札幌市長

提出者 住所

〒 060-0031
札幌市中央区北1条東14丁目1番地12
株式会社 保工北海道
(代表者名) 代表取締役社長 佐藤 文明

氏名

(代表者名)

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

札幌市生活環境の確保に関する条例 第13条第4項 の規定により、環境保全行動
第23条第3項 自動車使用管理実施
報告書を提出します。

報告期間	2022 年 4 月 1 日 ~ 2023 年 3 月 31 日								
事業の規模	従業員数	59	人	原油換算した 燃料・熱・電気の合計量	143.2	kl			
	使用床面積	1462.47	m ²						
	事業所数	1	事業所	自動車使用台数	30	台			
	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素 換算排出量)	エネルギー起源CO ₂	363	t-CO ₂	メタン	t-CO ₂	N ₂ O	t-CO ₂	HFC
非エネルギー起源CO ₂			t-CO ₂	PFC	t-CO ₂	SF ₆	t-CO ₂	NF ₃	t-CO ₂
報告書の担当部署	担当部署名								
	担当者氏名								
	電話/FAX								
	電子メールアドレス								
計画書提出根拠	条例第13条 (環境保全行動計画)			<input type="checkbox"/> 第1項	<input checked="" type="checkbox"/> 第3項				
	条例第23条 (自動車使用管理計画)			<input type="checkbox"/> 第1項	<input checked="" type="checkbox"/> 第2項				
計画期間	2021 年 4 月 1 日 ~ 2024 年 3 月 31 日								
環境保全行動 自動車使用管理実施 報告書	別添のとおり								
備考									

- 注 1 従業員数、使用床面積及び自動車使用台数は、報告に係る年度の3月31日現在で記入してください。
- 2 事業所数は、報告年度に係る年度の3月31日現在の札幌市内事業所数を記入してください。
- 3 燃料・熱・電気の合計量は、報告に係る年度に使用した量を原油換算して記入してください。
- 4 原油換算の方法は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則第4条に規定する方法により行ってください。
- 5 温室効果ガス排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律第2条第5項で規定する方法により、二酸化炭素排出量に換算したものを記入してください。
- 6 □のある欄には、該当する□内にレ印を記入してください。
- 備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

別添

環境保全行動報告書
自動車使用管理実施報告書

1 行動目標の達成状況

【計画期間】

2021年 4月 1日～ 2024年 3月 31日

【報告期間】

2022年 4月 1日～ 2023年 3月 31日

行動目標	基準数値	目標削減率	2021年度結果			2022年度結果			2023年度結果		
			実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果
事業活動での二酸化炭素排出量の削減	76.3	2	75.8	1	△	75.9	1	△			
	t	%	t	%		t	%				
自動車使用時の二酸化炭素排出量の削減	289	2	286	1	△	287	1	△			
	t	%	t	%		t	%				
		%		%			%				
		%		%			%				
		%		%			%				
		%		%			%				

注 1 実績数値が基準数値よりも増加した場合は、削減率の数値の前に▲を記入してください。

2 結果の欄には、以下のいずれかを記入してください。

○：目標削減率を達成

△：実績数値が基準数値よりも削減されたが、目標削減率は未達成

×：実績数値が基準数値よりも増加

2 行動目標達成・未達成の理由

行動目標	結果	理由
事業活動での二酸化炭素排出量の削減	△	冷暖房機器の温度管理の徹底不足。
自動車使用時の二酸化炭素排出量の削減	△	アイドリング禁止、急発進急停止禁止の指導不足。